

令和元年 10 月 18 日（金曜日）

## 静岡市（静岡県）

○市の概要（令和元年 10 月 1 日現在）

- 面積：1,412 k m<sup>2</sup>
- 人口：691,185 人 ●世帯数：294,796 世帯
- 平成 31 年度一般会計予算：3180 億円



<市章>

静岡市は静岡県の中ほどに位置し、南は太平洋の駿河湾に面し、北には南アルプスが聳える。駿河湾に面した市街地である駿河区、その北東側に隣接し駿河湾にも面している清水区、両区の北側から南アルプスにかけて広い地域となる葵区の 3 区で構成され、人口はそれぞれ駿河区が 210,620 人、清水区が 231,297 人、葵区が 249,064 人である。

## ◆視察内容

### <SDGs 推進に向けた取り組みについて>

静岡市は平成 30 年度の第 3 次総合計画の実現に向けて、2015 年 9 月に国連サミットにおいて全会一致で採択された持続可能な開発目標である「SDGs」を活用していくことを平成 30 年 2 月に発表し、現在までに SDGs の市政への組み込み、普及啓発、情報発信などの取り組みを実施している。

今回は、全国の自治体でも先進的と言われている静岡市の SDGs 推進に向けた取り組みについて視察を行った。

## 1. SDGs の市政への取込み

### （1）静岡市の基本的な考え方

静岡市は「SDGs を包含する 2030 アジェンダにまで視野を広め、SDGs を包括的に市政へ組み込む」とし、市の第 3 次総合計画前期の最後の年である 2018 年度から SDGs の組み込みを実施し、2019 年以降の第 3 次総合計画後期の期間で SDGs の本格的な姿勢への取込みを進めている。

## (2) 主な取組み

市政への取込みのなかで主な取組みは推進体制の整備、静岡市SDGs実施指針の策定、5大構想へのSDGsの組み込みなどがあげられる。

### ①推進体制の整備

庁内組織と外部有識者組織の連携によりSDGs推進体制を整えており、それぞれ以下のような体制としている。

#### 庁内組織

○静岡市創生・SDGs推進本部

本部長：市長 副本部長：両副市長

本部員：教育長、公営企業管理者政策官、局長級職員28名

○SDGs推進プロジェクトチーム

チーム員：若手職員10名程度

○局・区推進委員

○課推進委員

#### 【所管事項】

- ・人口減少対策の推進に関すること
- ・SDGsの推進に関すること
- ・人口ビジョン及び総合戦略の見直し並びに総合戦略に基づく施策等の効果の検証に関し、市長が必要があると認める事項

#### 外部有識者組織

○静岡市創生・SDGs推進会議

委員16名（産学金等関係）

座長：日詰一幸静岡大学人文社会科学部長

オブザーバー：静岡県職員

#### 【所管事項】

- ・総合戦略及びSDGsの推進に係る意見又は提言に関すること
- ・総合戦略及びSDGsに基づく施策等の効果の検証に関すること
- ・人口ビジョン及び総合戦略の見直し並びに総合戦略に基づく施策等の効果の検証

証に関し、市長が必要があると認める事項

## ②静岡市SDGs実施指針の策定

SDGs推進本部会議（計6回）で議論し、平成31年2月に「静岡市SDGs実施指針」が策定され、SDGsに対する市の取組み姿勢や、職員の業務遂行のなかでのSDGsの位置付け、各局・区等の取組み姿勢などの市指針が定められた。

この実施指針のもと、人事課が行っている階層別職員研修にSDGs科目を取り入れたほか、職員向け情報誌「What's your SDGs?」を継続的に発行するなど、職員の普及啓発が行われている。

## ③5大構想へのSDGsの組み込み

静岡市では第3次総合計画の推進に当たり最優先に取り組む5つの施策を5大構想と位置付けている。

- A) 歴史文化の拠点づくり
- B) 海洋文化の拠点づくり
- C) 教育文化の拠点づくり
- D) 「健康長寿のまち」の推進
- E) 「まちは劇場」の推進

5大構想への組み込み目的は、「SDGsという世界共通の目標で設定された大きな目標を組み込み、活用することで5大構想をさらに加速させ「世界に輝く『静岡』の実現」につなげること。」としている。

## ④SDGs推進に係る予算について

●平成30年度当初予算額・・・42,000,000円

内訳

- |  |             |
|--|-------------|
| 1 市政へのSDGsの組み込み  | 7,000,000円  |
| ○五大構想の高度化に向けた、SDGsの考え方を踏まえた指標の設定                                     | 等           |
| 2 普及啓発   | 32,500,000円 |
| ○SDGs推進に不可欠な若い女性（F1層）の取組を引き出すための普及啓発として、情報発信力が強いTGC（東京ガールズコレクション）の誘致 | 等           |
| 3 取組の発信  | 2,500,000円  |
| ○国連カンファレンス会議での取組発信   | 等           |

●平成30年度9月補正予算・・・42,857,000円

内訳

- |   |              |             |
|---|--------------|-------------|
| 1 | SDGs推進ウィーク事業 | 16,399,000円 |
|---|--------------|-------------|
- 女性や若者を対象として、ジェンダー平等や環境・資源問題など地球規模の課題解決に取り組む必要性を普及するイベント等を実施
- |   |                  |             |
|---|------------------|-------------|
| 2 | 東京ガールズコレクション連携事業 | 26,458,000円 |
|---|------------------|-------------|
- TGCのコンテンツ力、発信力、企画力を活用し、観客も含め多くの女性・若者を会場に誘導しSDGsを周知

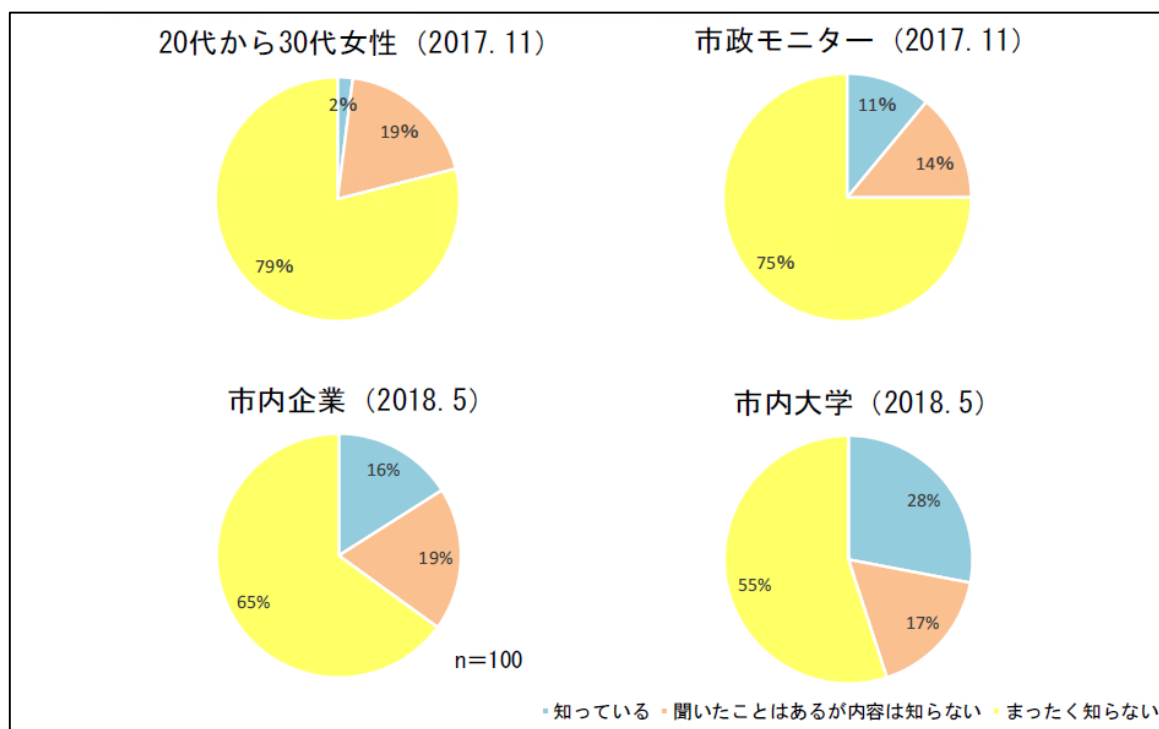
●平成31年度当初予算・・・60,000,000円

内訳

- |   |      |             |
|---|------|-------------|
| 1 | 普及啓発 | 58,520,000円 |
|---|------|-------------|
- TGCしずおか2020 for SDGs  
○TGCしずおか連携事業  
○優良企業表彰制度 等
- |   |                   |            |
|---|-------------------|------------|
| 2 | その他（各種調整旅費、消耗品など） | 1,480,000円 |
|---|-------------------|------------|

## 2. SDGsの普及啓発

静岡市では普及啓発の目標として「SDGs」の市民認知度50%を目指している。普及啓発を進める前段として、平成29年、30年に市が行ったSDGsの認知度調査では、20代から30代の女性の約8割がSDGsについて「まったく知らない」と回答し、「知っている」との回答は2%と、他のグループと比較しても突出して認知度が低いことが明らかとなった。こうした結果から、若い女性から注目を集める「東京ガールズコレクション(TGC)」を市内に誘致し、その中でSDGs普及啓発を行うことで、社会問題に関心が薄いと言われる若年層をターゲットとした取組み等を行っている。



### (1) しずおかまちづくりセッション

静岡市のまちづくりについて市長が説明した内容に対し、参加者からの意見を直接聞き、その場で市長が見解を述べるといった形式の意見交換会で、平成30年度は5月から7月までに全11回開催。市長のSDGsに対する姿勢や市政への組み込みについて意見交換を行っている。11回の開催で各回80～200名の市民が参加し、合計で1,570名であった。

## (2) 静岡市×SDGs×メディアプロジェクト

静岡の地方メディアと静岡市が協力し、地元企業や市民に対してSDGsの普及啓発を行う取組み。静岡あさひテレビ祭りでは、市民によるSDGsの普及活動を実施するなどの取組が行われている。

SDGs普及啓発イベント「SDGs COLLECTION supported by TGC しずおか 2019」では、メディアプロジェクトコーナーに民放4局及びケーブルテレビ1局、計5局の民間メディアがそれぞれブース出展を行っている。また、各社ブースではSDGs啓発用の共通看板が掲示され、各社の所属アナウンサーによるリレートーク番組が作成され、上記イベントで上映された。



## (3) 教育分野や企業との連携での普及啓発

教育機関や学識者、企業との連携によるSDGs普及啓発も活発に行われている。

### ① 地方創生カレッジ「官民連携講座」in 静岡

参加者：53名 自治体関係者、民間企業、大学生など

概要：「地域の困りごとからつくる官民協業モデル」

基調講演 蟹江憲史（慶応大学大学院教授）

ワークショップ 玉村雅敏（慶応大学教授）、横田浩一（慶応大学教授）

### ② エコプロ2018 学生派遣

参加者：100名

概要：参加した高校生とその教員、市職員によるSDGs寸劇を披露

### ③ 夢の課外授業～SDGs×DANCEで世界を変えよう～

参加者：静岡市立末広中学校生徒

概要：EXILE USA氏によるSDGs講和及びダンス教室

### ④ 学校への出前講座

参加者：964名（H30）、2935名（R01）

概要：市内大学、高等学校、中学校、小学校などに対し出前授業でSDGsの普及啓発を行っている。

平成30年度は10校で実施し、964名の参加。令和元年度は10月末までに17校で開催し、2935名が参加している。

#### ⑤企業等への出前講座等

参加者：484名

概要：市内業界団体、民間企業などに対し出前講座等でSDGsの普及啓発を行っている。平成30年度は12回の開催で、484名が参加している。

### 3. SDGsの情報発信

静岡市が行うSDGs推進への取組みを積極的に情報発信することにより、市の存在感を高めることを目的に、様々な会議への積極的な参加、出講・出稿への積極的な応諾などの取組みを行っている。

#### (1) 参加会議

- ・2018国連NY本部SDGs推進会議
- ・2018ハイレベル政治フォーラム
- ・2019国連NY本部SDGs推進会議
- ・2019ハイレベル政治フォーラム

#### (2) 出講・出稿

市外後援会等への出講は「慶應義塾大学SFC研究所×SDG・ラボ シンポジウム」など平成29年2月から令和元年9月までに19カ所。

雑誌への寄稿等は「地方公務員ハンドブック」、「建通新聞」など平成30年から令和元年10月までに13雑誌。

### 4. 所感

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs」は17のゴール(目標)が設定されていることは知られているが、ひとつひとつのゴールに対し、細分化された169のターゲット(目標)とそれら را 評価するための232の指標が設定されており、17のゴールを実現するために、これらのターゲットと指標の理解は欠かせない。

しかしながら、そもそも17のゴールを示した「SDGs」自体の認知度が低いため、細かいターゲットや指標についての理解を深めるまでには至っていないのが日本の現状だろう。

今回の視察した静岡市のSDGsに対する取組みは、具体的な施策への取込みはこれからの段階のようだが、普及啓発への注力具合は多くの自治体で参考になると考える。

市内調査で20代から30代の女性への認知度が低いことを洗い出し、TGCとのコラボでその層をターゲットとした普及啓発を行うなど、理にかなった取組みであり、行政がTGCといったイベントとのコラボを行うことにも好感が持てる。学校や企業への出前講座など地道な活動も精力的に行っている。こうした普及啓発を継続的に行っていくことはSDGsの認知度の向上だけでなく、その内容をさらに深く理解する市民が増えることが期待できるものである。

169のターゲットと232の指標をもとに、生活、経済、政治をどのように変えていけば17のゴールにたどり着けるのか、というSDGs本来の取組みを進めるために、杉並区でも静岡市の取組みを大いに参考にしていきたいと思う。



杉並区議会総務財政委員会 行政視察 静岡市議会 令和元年10月18日